



(財)日本学校体育研究連合会

第49回全国学校体育研究大会

福岡大会 報告書

研究
主題

「運動の楽しさを味わわせ、
体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」



福岡大会実行委員会

太宰府天満宮

開 会 式



開会のあいさつ 福岡大会実行委員会長 柳 昭博



主催者あいさつ 文部科学省スポーツ・青少年局長 布村 幸彦



主催者あいさつ (財)日本学校体育研究連合会長 片岡 暁夫



主催者あいさつ 福岡県教育委員会教育長 杉光 誠



来賓祝辞 福岡県副知事 海老井 悦子



歓迎のことば 福岡市副市長 高田 洋征



次期開催県あいさつ 長野県学校体育研究会長 熊谷 正

特 別 講 演



福岡ソフトバンクホークス株式会社取締役会長 王 貞治



FBS福岡放送アナウンサー 山田 真由美

基 調 報 告



福岡大会 研究部長 陶山 嘉一

解 説



文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課教科調査官 佐藤 豊

シ ン ポ ジ ウ ム



コーディネーター
早稲田大学スポーツ科学学術院教授 友添 秀則



山口県山口市立良城小学校教諭 吉松 英樹
福岡県粕屋町立粕屋中学校主幹教諭 佐藤 正男



宮崎県教育庁スポーツ指導センター指導主事 萩尾 英司
愛媛大学教育学部准教授 日野 克博

表彰式



分科会



第1分科会 粕屋町立大川幼稚園



第2分科会 福岡市立別府小学校



第3分科会 福岡市立長丘小学校



第4分科会 福岡市立草ヶ江小学校



第5分科会 大野城市立御笠の森小学校



第6分科会 久留米市立南薫小学校



第7分科会 福岡教育大学附属福岡小学校



第8分科会 福岡市立高宮中学校



第9分科会 福岡市立城南中学校



第10分科会 春日市立春日南中学校



第11分科会 福岡教育大学附属福岡中学校



第12分科会 福岡県立修猷館高等学校



第13分科会 福岡県立福岡工業高等学校



第14分科会 福岡県立古賀特別支援学校

目 次

大会スナップ	
1 開催要項	1
2 開 会 式	
(1) 次 第	3
(2) 開会のあいさつ	4
(3) 主催者あいさつ	
文部科学省	5
財団法人日本学校体育研究連合会	6
福岡県教育委員会	7
(4) 来賓祝辞	8
(5) 歓迎のことば	9
(6) 次期開催県あいさつ	10
3 基調報告	12
4 特別講演	24
5 解 説	38
6 シンポジウム	48
7 分科会一覧	71
8 分科会研究発表・研究協議等記録	
(幼稚園)	
第1分科会 粕屋町立大川幼稚園	76
(小学校)	
第2分科会 福岡市立別府小学校	84
第3分科会 福岡市立長丘小学校	92
第4分科会 福岡市立草ヶ江小学校	98
第5分科会 大野城市立御笠の森小学校	104
第6分科会 久留米市立南薫小学校	112
第7分科会 福岡教育大学附属福岡小学校	118
(中学校)	
第8分科会 福岡市立高宮中学校	124
第9分科会 福岡市立城南中学校	136
第10分科会 春日市立春日南中学校	143
第11分科会 福岡教育大学附属福岡中学校	148
(高等学校)	
第12分科会 福岡県立修猷館高等学校	154
第13分科会 福岡県立福岡工業高等学校	165
(特別支援学校)	
第14分科会 福岡県立古賀特別支援学校	172
9 平成22年度 全国学校体育研究 最優秀校・優良校・功労者一覧	180
10 主催・共催団体関係	185
11 福岡大会実行委員会	186
12 福岡大会運営役員	188
13 大会準備・経過の概要	191
14 全国学校体育研究大会開催地及び研究主題一覧	194
編集後記	

第49回全国学校体育研究大会福岡大会

開催要項

1 趣 旨

我が国においては、社会環境や生活様式の変化などにより、運動の機会の減少や生活習慣の乱れが生じてきており、児童生徒の体力低下が懸念されている。このため、精神的ストレスの発散など、心身の両面にわたる健康の保持増進や体力の向上を図り、発達の段階を踏まえた体育学習を通して、生涯にわたり明るく豊かで活力ある生活を営む態度を形成することは大きな意義がある。

子どもの運動習慣の分散化傾向などが指摘されるなか、全ての児童生徒が個に応じて体力を高め、運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、体育に関わる研究者などが一堂に会し、体育授業に関する研究成果の紹介やシンポジウムの実施等を通じ、学校体育の充実方策について研究協議を行う。

本大会では、先に告示された新学習指導要領の趣旨を踏まえ、主題を「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」と設定した。

これは、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する基礎を培い、各種の運動の楽しさや喜びを味わわせながら個に応じた体力の向上を図るとともに、学習指導要領に示された「技能」、「態度」、「知識・思考・判断」などを、本大会では「体育的学力」と設定し、それらをバランス良く身に付けさせることが重要であると考えたためである。

この主題のもと、福岡県では、幼児児童生徒の発達段階を考慮しながら、指導内容の体系化を図り、「できる(技能)」「わかる(知識)」「かかわる(態度)」喜びと、身に付けた体育的学力を活用する(思考・判断)喜びを十分に味わわせることで、大会主題の実現に向かっていているところである。そこで、これまでの各研究実践校における研究・実践の成果を踏まえ、公開授業並びに分科会において、主題に掲げる体育授業の在り方について提案するものである。

2 大会主題 「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」 ー幼児児童生徒の発達段階を踏まえてー

3 主催・共催 文部科学省 財団法人日本学校体育研究連合会 福岡県教育委員会 福岡市教育委員会 久留米市教育委員会 春日市教育委員会 大野城市教育委員会 粕屋町教育委員会 福岡県学校保健体育研究会

4 主 管 第49回全国学校体育研究大会福岡大会実行委員会

5 期 日 平成22年11月18日(木)～平成22年11月19日(金)

6 会 場

- (1) 全体会会場(第1日) 福岡サンパレス(福岡市博多区築港本町2-1)
- (2) 分科会会場(第2日)
 - 幼稚園 第1分科会 粕屋町立大川幼稚園
 - 小学校 第2分科会 福岡市立別府小学校
 - 第3分科会 福岡市立長丘小学校
 - 第4分科会 福岡市立草ヶ江小学校
 - 第5分科会 大野城市立御笠の森小学校
 - 第6分科会 久留米市立南薫小学校
 - 第7分科会 福岡教育大学附属福岡小学校

中 学 校	第8分科会	福岡市立高宮中学校
	第9分科会	福岡市立城南中学校
	第10分科会	春日市立春日南中学校
	第11分科会	福岡教育大学附属福岡中学校
高 等 学 校	第12分科会	福岡県立修猷館高等学校
	第13分科会	福岡県立福岡工業高等学校
特別支援学校	第14分科会	福岡県立古賀特別支援学校

7 参 加 対 象

- (1) 全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員並びに保健体育行政関係者
- (2) 社会体育等の指導者及び大学等の研究者
- (3) 一般参加者

8 内 容

(1) 全体会(第1日)

- ① 開 会 式
- ② 表 彰 式
- ③ 基 調 報 告
- ④ 特 別 講 演
「野球が教えてくれたもの」
講 演 者 王 貞 治(福岡ソフトバンクホークス株式会社取締役会長)
司 会 山田真由美(FBS福岡放送アナウンサー)
- ⑤ 解 説
「新しい学習指導要領が目指す方向性」
佐藤 豊(文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課教科調査官)
- ⑥ シンポジウム
コーディネーター 友添 秀則(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)
シンポジスト 吉松 英樹(山口県山口市立良城小学校教諭)
佐藤 正男(福岡県粕屋町立粕屋中学校主幹教諭)
萩尾 英司(宮崎県教育庁スポーツ指導センター指導主事)
日野 克博(愛媛大学教育学部准教授)

(2) 分科会(第2日)

- ①公開授業・保育
- ②研究発表・研究協議
- ③指導講評
- ④閉会式

9 日 程

9:30		10:00	10:40	11:30		12:10	13:10	14:20	15:10	17:00
11月18日		受付	開会式	表彰式	基調報告	昼食	特別講演	解説	シンポジウム	
9:00		9:30	12:00				13:00	15:00		
11月19日	受付	公開授業・保育				昼食	研究発表・研究協議	指導講評	閉会式	

※第2日(分科会)の日程は、会場により多少の違いがあります。

10 参 加 費 5,000円

11 問 い 合 わ せ 先

福岡大会実行委員会事務局〔福岡県体育研究所内〕
〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4
TEL 080-3903-2529 FAX 092-611-1747

開 会 式 次 第

1 開式のことば

福岡大会実行委員会副会長

松岡 恒人

2 国歌斉唱

3 開会のあいさつ

福岡大会実行委員会会長

柳 昭博

4 主催者あいさつ

文部科学省スポーツ・青少年局長

布村 幸彦

財団法人日本学校体育研究連合会会長

片岡 暁夫

福岡県教育委員会教育長

杉光 誠

5 来賓祝辞

福岡県副知事

海老井 悦子

6 歓迎のことば

福岡市副市長

高田 洋征

7 次期開催県あいさつ

長野県学校体育研究会会長

熊谷 正

8 閉式のことば

福岡大会実行委員会副会長

西村 博之

開 会 の あ い さ つ

第49回全国学校体育研究大会
福岡大会実行委員会長 柳 昭 博

全国から多数の体育関係者の方々をお迎えし、第49回全国学校体育研究大会を、ここ福岡において開催できますことは誠に喜ばしく、御参加の皆様にご心よりお礼申し上げます。

さて、変化の激しい「知識基盤社会」の時代と言われる21世紀においては、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した「生きる力」をはぐくむことが求められています。なかでも、体力は、人間が知性を磨き、知力を働かせて活動していく源であるとともに、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっていることから、「生きる力」を支える上でたいへん重要な要素です。このあらゆる活動の源になる体力を、子どもの時期からしっかりと身につけていくことは子どもの将来にとって必要不可欠であります。

近年、運動する子どもとそうでない子どもとの二極化傾向や、子どもの体力の低下傾向が懸念される中、体育科・保健体育科の授業はもとより学校教育活動全体を通じて行われる体育に関する指導の工夫・改善及びその充実を図っていくことが、私たちに課せられた大きな使命であり、その役割を十分に果たしていくことが期待されています。

このような中、先に告示された新学習指導要領の実施を目前に控えたこの時期に開催いたします福岡大会では、大会主題を「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」と設定しました。これは、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する基礎を培い、各種の運動の楽しさや喜びを味わわせながら個に応じた体力の向上を図るとともに、新学習指導要領に示された「技能」、「態度」、「知識、思考・判断」などを「体育的学力」と設定し、それらをバランス良く身に付けさせることが重要であると考えたためです。

この主題のもと、幼児児童生徒の発達段階を考慮しながら、指導内容の体系化を図り、「できる(技能)」「わかる(知識)」「かかわる(態度)」喜びと、身に付けた体育的学力を活用する(思考・判断)喜びを十分に味わわせることで、子ども自らが運動やスポーツを生活の一部として生涯にわたって継続していくことができる体育授業について、研究発表及び公開授業により提案いたします。

本日お集まりの皆様におかれましては、忌憚のない御意見、御指導をいただき、それぞれの所属における諸課題とその解決方策等について十分に情報交換を行っていただきますとともに、その成果を活かし、今後とも学校体育の充実に向けますます御活躍くださることを期待申し上げます次第です。

終わりに、本研究大会を開催するにあたり、ひとかたならぬ御支援、御指導を賜りました文部科学省、財団法人日本学校体育研究連合会をはじめ、関係諸機関、講師、指導助言者の皆様にご厚くお礼申し上げますとともに、この度、表彰を受けられます学校、指導者の皆様にお祝いと敬意を表しましてあいさついたします。

主 催 者 あ い さ つ

文部科学省スポーツ・青少年局長
布 村 幸 彦

第４９回全国学校体育研究大会の開会に当たり、ご挨拶申し上げます。

本研究大会に御参加いただきました皆様には、平素より我が国の体育・スポーツ活動の振興に多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新しい学習指導要領は、小学校では来年４月から、中学校では平成２４年度から全面実施となり、高等学校では平成２５年度から年次進行で実施となります。

今回の学習指導要領の改訂において、生涯にわたるスポーツライフの実現に向けて、小学校から高等学校までの１２年間を見通して、各種の運動の基礎を培う時期、多くの領域の学習を経験する時期、卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期といった発達の段階のまとまりを踏まえ、指導内容の体系化を図りました。

また、今年８月には、今後の我が国のスポーツ政策の基本的な方向性を示す「スポーツ立国戦略」を策定しました。これは、スポーツの意義や価値が広く国民に共有され、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち、互いに支え合う「新たなスポーツ文化」を確立することを目指すものです。

本戦略において、学校における体育・運動部活動の充実を重点戦略の目標の一つとし、小学校体育活動コーディネーターの配置や新学習指導要領の円滑な実施による体育授業の充実などの施策を掲げ、これらの関連予算を平成２３年度概算要求に盛り込んでいるところです。

本研究大会の大会主題であります「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」は、新学習指導要領の円滑な実施による体育授業の充実を掲げる「スポーツ立国戦略」を推進する内容です。

研究協議などの場において、活発に意見や情報の交換がなされ、新学習指導要領の実行に活かされることを期待するとともに、本研究大会への参加が、次代を担う子どもたちの健やかな心と体を育む上で、実り多いものとなることを切に願う次第です。

終わりに、本研究大会の開催に当たり、御尽力いただいた財団法人日本学校体育研究連合会をはじめ、公開授業の運営などに携わっていただいた関係教育委員会や諸学校の多くの皆様に深く敬意を表するとともに、我が国の学校体育の更なる発展を祈念し、挨拶とします。

主 催 者 あ い さ つ

財団法人日本学校体育研究連合会
会 長 片 岡 暁 夫

第49回全国学校体育研究大会は、福岡県福岡市を中心に行われることになりました。本大会開催のためにご尽力いただきました文部科学省をはじめ、福岡県教育委員会、福岡市、久留米市、大野城市、春日市、粕屋町の各教育委員会、福岡県学校保健体育研究会の方々、そして関係各位に、日本学校体育研究連合会を代表して心から御礼申し上げます。

さて、本大会では、「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」を研究主題に掲げています。この主題について少々考えてみたいと思います。まず「生涯にわたって運動に親しむ人」とはどのような人々なのでしょう。その日々とは、少なくとも運動の習慣を高齢であってももっているでしょう。彼らは、運動の本当の良さをつかんでいるでしょう。若い時に熱心にスポーツに取り組んだからといって、中高年になっても習慣が継続するとはかぎりません。医者の不養生と同様、元スポーツマンの怠惰がめずらしくないと思います。生涯の運動習慣が実現するには、生涯にわたり運動が必要だという理解が大切です。人間の一生と運動の意義についての理論を義務教育段階で装備しなければなりません。それが生きる力となります。運動の気持ちよさやゲームの楽しさ経験だけでは長持ちしません。いろいろな年齢段階で運動の持つ意味が変化します。そこを押さえることが学力形成の基本目標でしょう。そこを起点として体育授業が構成されてくるでしょう。人間はスポーツだけで運動するわけではありません。生活活動全体でからだを動かします。1日24時間、生涯にわたり、からだは運動を続けます。活動と休息を含めて、よく機能し働く生活習慣を持続することが課題だと思います。そのような見通しの中で素晴らしい研究授業・討議が展開されることが期待されます。そのような「授業の創造」が期待されます。充実して生きてゆくためには活発に動くこと、十分な活動と休息と栄養補給が求められます。そして人と人の関係もよくなければなりません。これを漢字では「働く」と書きます。「働く」は「人が良く動く」という組み立てです。授業でも運動種目に注目するだけでなく、準備運動や整理運動も大切な構成部分ですし、道具の準備や片づけ、安全確認、児童生徒の学習集団の在り方も重要な内容です。これらで構成される身体的な練習場面の形は習慣となって生涯に続いていきます。そのような意味での授業と確かな学力の確立が期待されるところです。

本大会の主題をめぐってさらに考察が展開されるでしょう。ここでは私の所感の一端を述べさせていただきます。

最後になりますが、二日間にわたって行われるシンポジウムや公開研究授業・研究発表をもとに新しい学習指導要領のさらに深い理解を進めるために、活発な討議が行われ、大きな成功を収め、全国各地に持ち帰られることを期待して挨拶とさせていただきます。

主 催 者 あ い さ つ

福岡県教育委員会教育長
杉 光 誠

全国各地から多数の御参加をいただき、第49回全国学校体育研究大会福岡大会がこのように盛大に開催できますことを心から感謝申し上げます。

本大会が、文部科学省及び日本学校体育研究連合会の皆様の御指導と全国の学校体育関係者の熱心な取組によりまして、年々充実・発展を遂げられておりますことに、深く敬意を表する次第です。また、本日、優良校及び功労者表彰を受賞されます皆様には、心からお祝い申し上げますとともに、今後とも学校体育の発展により一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等が改訂され、次代を担う子どもたちに「生きる力」を身に付けさせていくことの重要性が改めて強調されたところです。そのためにも「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和をさらに重視した教育を展開していくことが重要であると認識しています。

全国的に体力の低下傾向が指摘される中、「健やかな体」をはぐくむ観点から、体育科・保健体育科においては、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育成するために新学習指導要領で示された指導内容を確実に身に付けさせることが重要であり、その役割はますます期待をされているところであります。

本県では、「志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子ども」の育成を目指して、現在、「教育力向上福岡県民運動」を展開しています。その中で、学校・家庭・地域が連携して外遊びの活性化や運動・スポーツの推進など、実体験を重視した教育を推進しております。また、体力向上を目指した施策として、「ふくおか体力アップ推進事業」を展開しており、子どもの運動への動機付け・習慣化を図る取組を実施しているところです。

開催県としましては、新学習指導要領の実施に向け、新たな体育科・保健体育科学習の在り方を福岡から発信するということをスローガンに、幼児児童生徒の発達の段階を踏まえた研究を行ってきました。本大会を通して、参加者の皆様との活発な論議が展開され、その成果が今後の学校体育の充実に生かされることを心から願っております。

最後になりましたが、本大会の開催に当たり、御尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、御参会の皆様の御健勝と御活躍を心からお祈りしまして、ごあいさつとさせていただきます。

来賓祝辞

福岡県副知事
海老井 悦 子

第49回全国学校体育研究大会福岡大会が、全国から多数の皆様をお迎えして盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、御来県いただきました皆様を心より歓迎いたします。

本日御参会の皆様におかれましては、子どもたちの豊かな心と健やかな体の育成を目指して、日々の教育活動に情熱を注いでおられますことに対し、深く敬意を表する次第であります。また、これまでの素晴らしい学校体育の実践活動が評価され、本日、栄えある全国表彰を受賞されます優良校及び功労者の皆様、誠におめでとうございます。

社会の情報化やグローバル化が進展する中、21世紀を担うたくましい子どもを育てるためには、しっかりとした学力と何事にも積極的に取り組む意欲、社会のルールを守る規範意識を備えた人材を育成する教育が重要であります。また、人間の活動の源である体力は、健康の維持のほか学力や社会性を身に付ける上でも大きくかかわる人間形成の基本的な力です。この意味で、学校における体育の授業や様々な体育的活動の果たす役割は非常に重要です。家庭や地域が、運動やスポーツに親しむ子どもを育てることも大切です。

本県では、志をもち、たくましい青少年の育成をめざして、「教育力向上福岡県民運動」と「青少年アンビシャス運動」という2つの県民運動を実施しています。

「教育力向上福岡県民運動」は、「学ぶ意欲の低下」、「自尊感情の低下」、「規範意識の低下」、「体力等の低下」の4つの課題を解決するため、学校の活動を家庭や地域が応援するものです。

「青少年アンビシャス運動」は、家庭や地域が中心になって、子どもたちに様々な体験をさせるものであり、運動開始から10年が経過し、現在、子どもの居場所・遊び場である「アンビシャス広場」が県内263カ所にありますが、その中で「スポーツ教室」など、運動が苦手な子どもたちに運動の楽しさを体験させる充実した活動が実施されています。

本県は、このような運動を通じて、体力や精神力を鍛え、たくましい子どもの育成を目指しています。

このような中、学校体育に携わっておられる全国の皆様が、今後の「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」について議論や情報交換をされますことは、本県はもちろんのこと各都道府県にとりましても大変意義深いものと存じます。この大会の実り多い成果を心から期待いたします。

福岡には、古代「遠の朝廷」と呼ばれ、九州の外交・防衛・文化の中心地であった大宰府政庁や海外のお客様を迎える迎賓館として鴻臚館が建てられるなど、多くの史跡があります。また全国4番目となる九州国立博物館は開館5年で、800万人の入館者を誇る日本で一番元気の博物館です。この機会に、是非本県の歴史と文化に触れていただければ幸いです。

終わりに、本大会の成功と御参会の皆様の御健勝・御活躍を心よりお祈り申し上げ、祝辞といたします。

歓 迎 の こ と ば

福岡市副市長
高 田 洋 征

第４９回全国学校体育研究大会福岡大会が開催されるに当たり、お祝い並びに歓迎のご挨拶を申し上げます。

本日は、北は北海道から南は沖縄に至るまで、日本全国各地から、体育科教育に関わる研究者の皆様が一堂に会し、本大会がこのように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

福岡市は、アジアの交流拠点都市として、スポーツを通じて世界の人々と心を共有できる都市を目指して、福岡国際マラソン大会や福岡国際クロスカントリー大会を開催するなど、積極的に国際スポーツ都市づくりや生涯スポーツの推進に努めているところです。このような中、本大会の開催は全国的な体育科教育のあり方を究明するにとどまらず、本市のスポーツ振興に大きく寄与するものと確信しております。

特に、日本学校体育研究連合会におかれましては、学校体育に関する調査研究並びに学校における体育活動及び体育研究活動に必要な援助や、学校体育指導者の資質向上を図るために必要な事業を行い、学校体育の発展に貢献してこられました。

本大会におきましても、子どもの運動習慣の分散化傾向などが指摘されるなか、すべての児童生徒が個に応じた体力を高め、運動に親しむ資質や能力を身につけることができるよう、体育授業に関する研究成果の紹介やシンポジウムの実施を通じ、学校体育の充実方策について研究協議が行われると聞いており、その成果について期待しているところです。

子どもたちは一人ひとりが、まさに、社会にとってかけがえのない宝。本市におきましては、『笑顔があふれ、明るく元気に子どもが育つ街・福岡』の実現のために、教育力の向上はもちろん、子どもたちが自立し、たくましく生きる力の向上を図るとともに、子どもと子育てを大切にするまちづくりを進めております。子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりは、行政だけでなく、家庭や地域ぐるみで進めていく必要があります。本大会も、社会全体で子どもの体力向上や生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる大きな契機をつくるものであると信じております。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈りしますとともに、今後とも、全国学校体育研究大会がますます充実・発展され、新たな歴史を築いていかれますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

次 期 開 催 県 あ い さ つ

長野県学校体育研究会
会長 熊 谷 正

おはようございます。私は次期開催県、長野県学校体育研究会の熊谷と申します。

本日は第49回全国学校体育研究大会福岡大会が『運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造』を大会研究主題に、ここ福岡市におきまして盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

私からはこの場をお借りして、来年平成23年度全国学校体育研究会長野大会のご案内、ならびにお願いを申し上げます。

お手元配布の案内パンフレットに示しましたが、シンボルの表紙絵は福岡「太宰府天満宮」から信州「善光寺」に引き継がれます。

くぎりの良い第50回全国学校体育研究会を長野県で開催いたします。期日は平成23年10月27日(木)28日(金)の二日間です。

初日は「ホクト文化ホール」で全体会を、2日目は11分科会を用意し、1つの幼稚園、3つの小学校、3つの中学校、2つの高等学校、2つの特別支援学校の計11校で「公開授業・研究発表・研究協議」を予定しています。

研究主題を『すべての子どもが夢中になり、健康で豊かなスポーツライフの実現をめざす体育学習の創造～「わかる」「できる」「かかわる」楽しさの提供～』と据え、現在各公開校において、実践研究を進めているところです。

今月、来月と2回にわたってプレ大会を予定しています。

まだまだ準備不足の面も有りますが、一昨年の岩手大会・昨年の島根大会・今年の福岡大会を参考にさせていただきまして、よりよい研究発表、全国大会をめざして努力して参りますので、皆様方のご支援ご協力をお願いいたしますと共に、是非「長野」へおいで下さいますようお願い申し上げます、次期開催県、長野県を代表してのご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

分 科 会 一 覧

		会 場	研 究 主 題
幼稚園	1	粕屋町立 大川幼稚園	心身ともにたくましい幼児を育てる運動的な遊び －友達と一緒に心と体を弾ませ、遊びを広げる環境の工夫－
小学校	2	福岡市立 別府小学校	運動する楽しさにふれ、よさを発揮できる子どもを育む体育学習の創造 －感動体験を味わうことができる陸上運動・体づくり運動を通して－
	3	福岡市立 長丘小学校	運動の楽しさを味わいながら、自分の心や体の成長を感じる子どもをめざして －「体づくり運動」の学習過程に即した支援の在り方を通して－
	4	福岡市立 草ヶ江小学校	運動の楽しさを味わい、自ら課題を解決する子どもの育成 －子どもの実態に応じ、評価を踏まえた指導・支援の工夫を通して－
	5	大野城市立 御笠の森小学校	自ら運動をつくる子どもを育てる体育の学習指導 －「考える・やってみる」課題解決活動を通して－
	6	久留米市立 南薫小学校	運動の楽しさを味わい基本的な動きを身に付ける体育学習 －ゲーム・ボール運動領域における教材化の工夫を中心に－
	7	福岡教育大学附属 福岡小学校	価値ある動きを追究する体育科学習 －状況に応じた比較活動を位置付けた活動構成－
中学校	8	福岡市立 高宮中学校	体育的学力の確かな定着を目指した、「わかってできる」体育授業 －知識と技能を関連させた学習を通して－
	9	福岡市立 城南中学校	運動の楽しさを味わいながら、知識や身体能力を高め合う体育学習 －コミュニケーション活動を生かした学習指導過程の工夫を通して－
	10	春日市立 春日南中学校	仲間とともに課題を発見し解決を図る活動を通して、確かな運動技能の定着をめざす体育の学習指導の在り方 －視聴覚機器の活用を通して－
	11	福岡教育大学附属 福岡中学校	基礎・基本の定着を図る体育学習指導の在り方 －習得した知識・技能を生かす活用型の学習を通して－
高等学校	12	福岡県立 修猷館高等学校	共に学び、生きる力をはぐくむ体育授業の創造 －失敗と成功のサイクルを積み上げる楽しさのステップアップ－
	13	福岡県立 福岡工業高等学校	運動の特性や魅力に応じた体育的学力をはぐくむ体育授業 －運動の系統性を踏まえた授業展開の工夫－
援特 学別校支	14	福岡県立 古賀特別支援学校	運動の楽しさを実感し、自ら運動に取り組む、意欲的な児童生徒を育てる体育授業

公開授業・保育	公開授業・保育	指導助言者
○4歳児「自分の思いを出しながら、友達と一緒に体を動かして遊ぶ」 ○5歳児「友達と一緒に、イメージを広げながら伸び伸びと体を動かして遊ぶ」		中村学園大学 教 授 田 中 浩 子
○跳の運動 第4学年「高跳び」 ○体づくり運動 第5学年「体力を高める運動」	○陸上運動 第6学年「走り高跳び」 ○体づくり運動 第1学年「多様な動きをつくる運動遊び」	宇都宮大学 教 授 加 藤 謙 一
○体づくり運動 第3学年「多様な動きをつくる運動」 ○体づくり運動 第5学年「体力を高める運動」	○ゲーム 第4学年「ネット型ゲーム」 ○体づくり運動 第6学年「体力を高める運動」	愛媛大学 准 教 授 日 野 克 博
○ゲーム 第1学年「ボールゲーム」 ○ゲーム 第2学年「鬼遊び」 ○保 健 第3学年「毎日の生活と健康」	○ゲーム 第4学年「ネット型ゲーム」 ○ボール運動 第5学年「ゴール型」 ○保 健 第6学年「病気の予防」	早稲田大学 専任講師 吉 永 武 史
○器械運動 第6学年「跳び箱運動」	○器械・器具を使つての運動遊び 第2学年「跳び箱を使った運動遊び」 ○表現運動 第5学年「表現」 ○保 健 第4学年「育ちゆく体とわたし」	鳴門教育大学 准 教 授 藤 田 雅 文
○ゲーム 第4学年「ゴール型ゲーム」	○ボール運動 第6学年「ネット型」	東京学芸大学 教 授 松 田 恵 示
○ゲーム 第1学年「ボールゲーム」 ○ゲーム 第3学年「ゴール型ゲーム」	○表現運動 第5学年「表現」	福岡教育大学 教 授 相 部 保 美
○球技 第1学年「ネット型」	○球技 第2学年「ベースボール型」	茨城大学 准 教 授 加 藤 敏 弘
○ダンス 第3学年「現代的なリズムのダンス」・ 「創作ダンス」	○武道 第1学年「柔道」	筑波大学 教 授 村 田 芳 子
○器械運動 第3学年「マット運動」	○球技 第3学年「ゴール型」	東京学芸大学 准 教 授 水 島 宏 一
○武道 第1学年「柔道」		福岡教育大学 准 教 授 本 多 壮 太 郎
○ダンス 第2学年「創作ダンス」	○体育理論 第1学年「スポーツの歴史、文化的特性 や現代のスポーツの特徴」	鹿児島大学 准 教 授 廣 瀬 勝 弘
○武道 第1学年「柔道」	○球技 第1学年「ゴール型」	香川大学 教 授 山 神 眞 一
○基本的な運動 小学部 第5、6学年 「マット運動」	○球技 中学部 第2学年 「ロケット風船を投げよう」	筑波大学 准 教 授 齊 藤 ま ゆ み

校 種	分科会	会場校	公開授業・保育
幼稚園	第1分科会	粕屋町立 大川幼稚園 TEL092-938-3108	○4 歳 児 『自分の思いを出しながら、友達と一緒に 体を動かして遊ぶ』 ○5 歳 児 『友達と一緒に、イメージを広げながら 伸び伸びと体を動かして遊ぶ』
小学校	第2分科会	福岡市立 別府小学校 TEL092-821-1238	○第4学年 『跳 の 運 動』(高跳び) 指導者 森 園 久 恵 ○第5学年 『体づくり運動』(体力を高める運動) 指導者 飯 田 高 広
	第3分科会	福岡市立 長丘小学校 TEL092-511-1350	○第3学年 『体づくり運動』(多様な動きをつくる運動) 指導者 原 田 まどか ○第5学年 『体づくり運動』(体力を高める運動) 指導者 森 田 雅 一
	第4分科会	福岡市立 草ヶ江小学校 TEL092-771-3815	○第1学年 『ゲ ー ム』(ボールゲーム) 指導者 寺 澤 友 彦 ○第2学年 『ゲ ー ム』(鬼遊び) 指導者 生 田 千 容 ○第3学年 『保 健』(毎日の生活と健康) 指導者 木村 友美、堤 三和
	第5分科会	大野城市立 御笠の森小学校 TEL092-504-1431	○第6学年 『器 械 運 動』(跳び箱運動) 指導者 平 井 源 樹
	第6分科会	久留米市立 南薫小学校 TEL0942-33-0468	○第4学年 『ゲ ー ム』(ゴール型ゲーム) 指導者 平 湯 修 一
	第7分科会	福岡教育大学附属 福岡小学校 TEL092-741-4731	○第1学年 『ゲ ー ム』(ボールゲーム) 指導者 堀 亮 輔 ○第5学年 『表 現 運 動』(表現) 指導者 毛 利 拓 也
中学校	第8分科会	福岡市立 高宮中学校 TEL092-531-2631	○第1学年 『球 技』(ネット型) 指導者 中 島 隆 輔
	第9分科会	福岡市立 城南中学校 TEL092-821-4833	○第3学年 『ダ ン ス』 (現代的なリズムのダンス・ <u>創作ダンス</u>) 指導者 副 島 裕妃子
	第10分科会	春日市立 春日南中学校 TEL092-595-0905	○第3学年 『器 械 運 動』(マット運動) 指導者 下 野 六 太
	第11分科会	福岡教育大学附属 福岡中学校 TEL092-771-8381	○第1学年 『武 道』(柔道) 指導者 深 川 成 浩
高等学校	第12分科会	福岡県立 修猷館高等学校 TEL092-821-0733	○第2学年 『ダ ン ス』(創作ダンス) 指導者 鈴 木 須美子
	第13分科会	福岡県立 福岡工業高等学校 TEL092-821-5831	○第1学年 『武 道』(柔道) 指導者 池 上 久 敏
特別支援 学校	第14分科会	福岡県立 古賀特別支援学校 TEL092-943-8674	○小学部第5、6学年 『基本的な運動』(マット運動) 指導者 荒 木 宏 之

公開授業・保育	研究発表者
指導者 一ノ瀬 由佳、田 鍋 かおり	粕屋町立大川幼稚園 田 中 真智子
指導者 田 中 真智子、安河内 恵子	粕屋町立西幼稚園 富 田 富 美
○第6学年 『陸上運動』(走り高跳び) 指導者 川 島 由利子	福岡市立別府小学校 大 跡 克 史
○第1学年 『体づくり運動』(多様な動きをつくる運動遊び) 指導者 三 枝 繭 美	
○第4学年 『ゲ ー ム』(ネット型ゲーム) 指導者 村 上 行 正	福岡市立長丘小学校 村 上 行 正
○第6学年 『体づくり運動』(体力を高める運動) 指導者 久 門 誠 治	
○第4学年 『ゲ ー ム』(ネット型ゲーム) 指導者 三 浦 紗 織	福岡市立草ヶ江小学校 休 徳 一 郎
○第5学年 『ボール運動』(ゴール型) 指導者 田 中 香 織	
○第6学年 『保 健』(病気の予防) 指導者 濱 地 佳 織	
○第2学年 『器械・器具を使つての運動遊び』(跳び箱を使った運動遊び) 指導者 徳 重 三重子	大野城市立御笠の森小学校 平 井 源 樹
○第5学年 『表 現 運 動』(表現) 指導者 新田 聖、齊藤 薫	
○第4学年 『保 健』(育ちゆく体とわたし) 指導者 内田 裕司、田辺 真理	
○第6学年 『ボール運動』(ネット型) 指導者 淵 上 竜 司	久留米市立南薫小学校 大 隈 知 子
○第3学年 『ゲ ー ム』(ゴール型ゲーム) 指導者 緒 方 勝 彦	福岡教育大学附属福岡小学校 毛 利 拓 也
○第2学年 『球 技』(ベースボール型) 指導者 阿 武 正 俊	福岡市立高宮中学校 阿 武 正 俊
○第1学年 『武 道』(柔道) 指導者 田 上 健 二	福岡市立城南中学校 吉 村 由美子
○第3学年 『球 技』(ゴール型) 指導者 八 尋 健 次	春日市立春日南中学校 八 尋 健 次
	福岡教育大学附属福岡中学校 深 川 成 浩
○第1学年 『体 育 理 論』 (スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴) 指導者 藤 原 誠	福岡県立修猷館高等学校 岡 本 圭 吾
○第1学年 『球 技』(ゴール型) 指導者 遠 藤 元太郎	福岡県立福岡工業高等学校 犬 丸 嘉 章
○中学部2学年 『球 技』(ロケット風船を投げよう) 指導者 井 神 秀 展	福岡県立川崎特別支援学校 久 保 雅 子 福岡県立築城特別支援学校 黒 田 恵 美

平成22年度全国学校体育研究
最優秀校

(文 部 科 学 大 臣 賞)

**優 良 校
功 勞 者**

受賞校・受賞者

平成22年度全国学校体育研究 最優秀校(文部科学大臣賞)

都道府県	学校名
茨城県	那珂市立第一中学校
埼玉県	埼玉県立坂戸西高等学校
千葉県	東庄町立笹川小学校

都道府県	学校名
静岡県	静岡市立横内小学校
岡山県	岡山市立大元小学校

平成22年度全国学校体育研究 優良校

都道府県	学校名
北海道	釧路市立幣舞中学校
	北海道帯広緑陽高等学校
青森県	つがる市立瑞穂小学校
	つがる市立稲垣中学校
	県立八戸南高等学校
岩手県	盛岡市立仁王小学校
	久慈市立久慈小学校
	盛岡市立大宮中学校
山形県	天童市立成生小学校
	米沢市立第三中学校
	山形県立鶴岡北高等学校
福島県	福島市立吉井田小学校
茨城県	取手市立戸頭東小学校
	筑西市立下館小学校
	那珂市立第一中学校
	茨城県立並木中等教育学校 茨城県立並木高等学校
栃木県	足利市立けやき小学校
	宇都宮市立陽東中学校
	栃木県立那須高等学校
群馬県	渋川市立上白井小学校
	安中市立松井田南中学校

都道府県	学校名
埼玉県	行田市立太田東小学校
	北本市立中丸小学校
	越谷市立南中学校
	埼玉県立坂戸西高等学校
千葉県	東庄町立笹川小学校
	いすみ市立太東小学校
	南房総市立白浜小学校
東京都	品川区立御殿山小学校
	練馬区立光和小学校
	小平市立小平第十三小学校
	千代田区立麹町中学校
	足立区立竹の塚中学校
	東京都立高島高等学校
神奈川県	川崎市立宮崎小学校
	神奈川県立深沢高等学校
石川県	珠洲市立宝立中学校
福井県	福井市社北小学校
長野県	南箕輪村立南箕輪小学校
	南箕輪村立南箕輪中学校

都道府県	学校名
岐 阜 県	岐 阜 市 立 長 森 北 小 学 校
	海 津 市 立 平 田 中 学 校
	岐 阜 県 立 可 児 工 業 高 等 学 校
静 岡 県	静 岡 市 立 横 内 小 学 校
	伊 豆 市 立 八 岳 小 学 校
	浜 松 市 立 麿 玉 中 学 校
	静 岡 県 立 吉 原 工 業 高 等 学 校
愛 知 県	知 立 市 立 八 ツ 田 小 学 校
	名 古 屋 市 立 大 須 小 学 校
	愛 西 市 立 佐 織 西 中 学 校
	愛 知 県 立 豊 川 工 業 高 等 学 校
三 重 県	県 立 宇 治 山 田 商 業 高 等 学 校
滋 賀 県	草 津 市 立 草 津 第 二 小 学 校
	高 島 市 立 朽 木 中 学 校
	滋 賀 県 立 日 野 高 等 学 校
大 阪 府	豊 中 市 立 桜 井 谷 東 小 学 校
	松 原 市 立 松 原 東 小 学 校
	堺 市 立 西 陶 器 小 学 校
	大 阪 市 立 五 条 小 学 校
	大 阪 府 立 寝 屋 川 支 援 学 校
兵 庫 県	朝 来 市 立 大 蔵 小 学 校
	淡 路 市 立 北 淡 中 学 校
	淡 路 市 立 一 宮 中 学 校
	尼 崎 市 立 尼 崎 東 高 等 学 校
奈 良 県	吉 野 町 立 吉 野 小 学 校
	三 郷 町 立 三 郷 中 学 校
	西 大 和 学 園 中 学 校 ・ 高 等 学 校
和 歌 山 県	日 高 川 町 立 中 津 中 学 校
鳥 取 県	若 桜 町 立 若 桜 中 学 校
島 根 県	島 根 大 学 付 属 幼 稚 園
	島 根 大 学 付 属 小 学 校
	島 根 大 学 付 属 中 学 校

都道府県	学校名
岡 山 県	岡 山 市 立 大 元 小 学 校
	奈 義 町 立 奈 義 中 学 校
	岡 山 県 立 総 社 南 高 等 学 校
広 島 県	廿 日 市 市 立 大 野 東 小 学 校
徳 島 県	北 島 町 立 北 島 小 学 校
	海 陽 町 立 宍 喰 中 学 校
愛 媛 県	西 予 市 立 宇 和 中 学 校
	県 立 小 松 高 等 学 校
福 岡 県	福 岡 市 立 草 ヶ 江 小 学 校
	春 日 市 立 春 日 南 中 学 校
佐 賀 県	佐 賀 市 立 北 山 東 部 小 学 校
	伊 万 里 市 立 伊 万 里 中 学 校
	佐 賀 県 立 ろ う 学 校
長 崎 県	長 崎 県 立 大 村 高 等 学 校
熊 本 県	熊 本 市 立 健 軍 東 小 学 校
	熊 本 市 立 東 町 中 学 校
	熊 本 県 立 宇 土 高 等 学 校
大 分 県	佐 伯 市 立 渡 町 台 小 学 校
	国 東 市 立 武 蔵 中 学 校
宮 崎 県	門 川 町 立 門 川 小 学 校
	門 川 町 立 門 川 中 学 校
	宮 崎 県 立 門 川 高 等 学 校
鹿 児 島 県	鹿 児 島 市 立 川 上 小 学 校
	日 置 市 立 鶴 丸 小 学 校
	出 水 市 立 高 尾 野 中 学 校
	鹿 児 島 県 立 鹿 児 島 盲 学 校
沖 縄 県	宮 古 島 市 立 上 野 小 学 校
	八 重 山 郡 与 那 国 町 立 与 那 国 小 学 校

平成22年度全国学校体育研究 功労者

都道府県	氏名	所属(役職名)
北海道	西 村 正	元 札幌市立山鼻南小学校校長
	八 木 修一	前 釧路市立幣舞中学校校長
	大塚 裕子	前 札幌市上野札幌中学校校長
	山田 和雄	北海道恵庭南高等学校校長
	熊 谷 勉	北海道江別高等学校校長
	藤岡 道雄	北海道札幌篠路高等学校校長
青森県	八木橋 正治	弘前市立文京小学校校長
	本間 正明	深浦町立大戸瀬中学校校長
	安保 敏彦	青森県立六ヶ所高等学校校長
岩手県	佐藤 健三	一関市立南小学校校長
	阿部 道子	盛岡市立見前中学校校長
	鷹 齋 文昭	岩手県立盛岡工業高等学校校長
宮城県	安 齋 知秀	仙台市立宮城野小学校校長
秋田県	高田 喜代	秋田市立秋田山王中学校校長
	船木 賢咲	秋田県立秋田工業高等学校校長
山形県	小 川 潔	山形市立第八小学校校長
	窪田 裕司	山形市立蔵王第一中学校校長
	奥 昌	山形県立酒田高等学校教頭
福島県	立石 ひとみ	郡山市立三町目小学校校長
	菅野 正行	福島県立田村高等学校校長
	吉 田 務	福島市教育委員会学校教育課主幹
茨城県	會 澤 勤	茨城県水戸市立双葉台中学校校長
	木村 瑤夫	茨城県鉾田南中学校校長
	古川 久司	茨城県筑西市立下館南中学校校長
	小林 義治	茨城県小美玉市立美野里中学校校長
栃木県	小島 靖宏	宇都宮市立白沢小学校校長
	坂本 俊二	宇都宮市立陽西中学校校長
	見目 政子	栃木県立小山南高等学校校長
群馬県	北村 和夫	太田市立強戸小学校校長
	加藤 三男	昭和村立昭和中学校校長
	松本 瑤夫	前群馬県立前橋商業高等学校校長
埼玉県	星 野 薫	さいたま市立大宮南小学校校長
	佐藤 良明	越谷市立城ノ上小学校校長
	高瀬 賢一	羽生市立西中学校校長
	篠原 善廣	埼玉県立熊谷女子高等学校校長

都道府県	氏名	所属(役職名)
千葉県	茂木 道雄	浦安市立高洲小学校校長
	中川 政春	千葉市立椿森中学校校長
	鹿野 正博	市原市立八幡中学校校長
	向井 有志	千葉県立千葉商業高等学校校長
東京都	伊津 壽美	荒川区立第三日暮里小学校校長
	北村 幸枝	世田谷区立多聞小学校校長
	津吹 猛司	杉並区立馬橋小学校校長
	阿部 光延	多摩市立多摩永山中学校校長
	内山 泰雄	江戸川区立西葛西中学校校長
	比良田 健一	町田市立堺中学校校長
神奈川県	神取 豊夫	東京都立武蔵野北高等学校校長
	柏木 雅一	横須賀市立山崎小学校校長
	高尾 寛雄	川崎市立宮崎小学校校長
新潟県	市丸 佳世子	前藤沢市立秋葉台中学校教諭
	石 井 孝	前新潟市立小須戸小学校校長
	若井 春雄	燕市立吉田南小学校校長
	竹田 一夫	上越市立柿崎中学校校長
富山県	杉原 幸男	上越市立大湊町中学校校長
	西谷 博信	富山市立大庄小学校校長
石川県	高島 雅展	小松市立芦城小学校校長
	中山 秀悟	金沢市立大徳小学校校長
福井県	喜澤 正一	かほく市立河北台中学校校長
	鳥山 治一	勝山市立北郷小学校校長
	前田 誠一郎	福井市森田中学校校長
	浅野 清美	福井県立福井農林高等学校校長
長野県	高森 勝夫	元長野市立北部中学校校長
岐阜県	荒 井 勇	各務原市立各務小学校校長
	岩本 修治	岐阜市立伊奈波中学校校長
	細江 昭夫	岐阜県立岐阜商業高等学校校長
静岡県	橋本 克仁	御殿場市立御殿場小学校校長
	坂田 雄章	浜松市立南陽中学校校長
	新谷 誠規	前静岡県立藤枝西高等学校教頭
	河 村 實	藤枝市いきいき交流センター
山梨県	岡部 和子	甲府市立甲運小学校校長
	早川 公仁	笛吹市立御坂中学校校長
	山田 泰男	前山梨県立富士北稜高等学校校長

都道府県	氏名	所属(役職名)
愛知県	山口 敏夫	名古屋市長立笠寺小学校校長
	本田 澄明	東郷町立春木中学校校長
	川口 久紀	愛知県立佐織工業高等学校教諭
	稲垣 実	安城市歴史博物館社会教育指導員
三重県	服部 匠悟	県立稲生高等学校校長
滋賀県	加藤 富雄	大津市長立堅田小学校校長
	城念 久雄	滋賀県立膳所高等学校教諭
	小田柿 幸男	彦根市教育委員会教育長
京都府	長者 美里	(財)京都市ユースサービス協会支援コーディネーター
大阪府	宮下 俊二	茨木市長立春日小学校校長
	森田 宗二	千早赤坂村立千早小吹台小学校校長
	中辻 久幸	大阪市立五条小学校校長
	松本 茂	大阪市立大宮西小学校校長
	小林 直也	大阪市立都島工業高等学校教諭
兵庫県	今社 秀男	神戸市長立多聞南小学校校長
	井高 敏和	前淡路市長立北淡中学校校長
	岡田 知代	兵庫県立長田高等学校教諭
	川根 耕一	兵庫県立国際高等学校教諭
奈良県	向手 利幸	御所市長立葛城小学校校長
	上野 佳男	安堵町立安堵中学校校長
	古川 典央	県立大和中央高等学校通信制教頭
和歌山県	木野 道雄	元和歌山市立松江小学校校長
	丸山 雅嗣	和歌山市立東和中学校校長
	横尾 英治	和歌山県立箕島高等学校校長
鳥取県	笹津 裕一	元米子市長立淀江中学校校長
島根県	野津 和夫	松江市長立母衣小学校校長
	神谷 進	元松江市立第二中学校校長
	飯塚 修	島根県立矢上高等学校校長
岡山県	西村 洋子	岡山市立三門小学校校長
	筒井 茂夫	笠岡市長立神島外中学校教諭
	大林 秀行	岡山県立岡山一宮高等学校教頭
広島県	行本 隆紀	坂町立坂小学校校長
	藤田 利昭	北広島町立大朝小学校
徳島県	佐々木 泰男	徳島市長立古小学校校長
	川人 知恵子	元徳島市長立津田中学校

都道府県	氏名	所属(役職名)
香川県	國重 英二	坂出市長立東部小学校校長
	平田 隆久	高松市長立牟礼小学校校長
	豊島 邦治	元高松市長立太田中学校校長
愛媛県	田中和 紀	前松山市立清水小学校校長
	渡部 明	松山市立拓南中学校校長
	大森 治幸	県立東温高等学校校長
高知県	山中 潤	前香南市長立野市東小学校校長
	岩井 正道	前土佐清水市長立三崎中学校校長
福岡県	武内 清一郎	直方市長立福地小学校校長
	木下 正信	福岡市長立下山門小学校校長
	藤川 一俊	北九州市立高見小学校校長
	吉嗣 修次郎	元福岡市長立柏原中学校校長
	井上 富慈子	元福岡県公立三井中央高等学校教頭
	中山 清一	糟屋郡久山町教育委員会教育長
佐賀県	緒方 直子	佐賀市長立久保泉小学校校長
	浪瀬 隆一	小城市立小城中学校教頭
	北御門 哲男	佐賀県立神埼清明高等学校校長
長崎県	森 一正	長崎市長立女の都小学校校長
	大町 謙治	長崎市長立滑石中学校校長
	初手 和幸	長崎県立佐世保東翔高等学校教諭
熊本県	永田 好文	熊本市立力合小学校校長
	境 孝治	宇城市立松橋中学校校長
	八十田 宏	熊本県立宇土高等学校校長
大分県	菊原 壮太	中津市長立鶴居小学校校長
	首藤 康行	元大分市長立上野ヶ丘中学校校長
	山口 次男	大分県立大分豊府高等学校教諭
宮崎県	岩崎 折雄	宮崎市長立生目中学校校長
	笠野 謙次	宮崎県立宮崎海洋高等学校校長
	後藤 憲一	宮崎県立みやざき中央支援学校校長
鹿児島県	鳴戸 洋悦	前鹿児島市長立南小学校校長
	麓 吉雄	前鹿児島市長立谷山北中学校校長
	上原 又郎	県立松陽高等学校非常勤講師
	山方 博文	県立鹿屋養護学校校長
沖縄県	与那覇 実	沖縄県那覇市長立小禄中学校校長
	島袋 厚子	沖縄県うるま市長立与勝第二中学校校長
	山入端 恵子	沖縄県立首里高等学校校長

主催・共催団体関係

■文部科学省

布村 幸彦	スポーツ・青少年局長
藤原 誠	大臣官房審議官（スポーツ・青少年局担当）
有松 育子	スポーツ・青少年総括官
山口 敏	スポーツ・青少年局 企画・体育課長
佐藤 豊	スポーツ・青少年局 企画・体育課 教科調査官
白旗 和也	スポーツ・青少年局 企画・体育課 教科調査官

■財団法人日本学校体育研究連合会

片岡 暁夫	会 長		
高橋 健夫	副 会 長	本村 清人	副 会 長
後藤 一彦	理 事 長		
友添 秀則	常務理事	岡出 美則	常務理事
菅原 健次	常務理事	池田 延行	常務理事
村上 みな子	常務理事	老田 準司	常務理事
細江 文利	参 与	萩原 奏	参 与
櫻井 康治	参 与	加藤 正克	参 与
田中 美智子	参 与	手打 和明	参 与
古川 浩洋	参 与		
奈尾 力	監 事	関 毅彦	監 事
寺嶋 文代	事務局長		

■福岡県教育委員会

杉光 誠 教 育 長

■福岡市教育委員会

山田 裕嗣 教 育 長

■久留米市教育委員会

堤 正則 教 育 長

■春日市教育委員会

山本 直俊 教 育 長

■大野城市教育委員会

古賀 宮太 教 育 長

■粕屋町教育委員会

大塚 豊 教 育 長

■福岡県学校保健体育研究会

柳 昭博	会 長		
松岡 恒人	副 会 長	西村 博之	副 会 長
春本 文昭	副 会 長		

福岡大会実行委員会

役 職	氏 名	所 属 及 び 職 等	
願 問	杉 光 誠	福岡県教育委員会教育長	
	山 田 裕 嗣	福岡市教育委員会教育長	
	堤 正 則	久留米市教育委員会教育長	
	山 本 直 俊	春日市教育委員会教育長	
	古 賀 宮 太	大野城市教育委員会教育長	
	大 塚 豊	粕屋町教育委員会教育長	
参 与	一 木 信 治	福岡県小学校長会長	福岡市立住吉小学校 校長
	佐 々 木 基 成	福岡県中学校長会長	宇美町立宇美中学校 校長
	亀 岡 靖	福岡県公立高等学校長協会長	福岡県立修猷館高等学校 校長
	遠 江 規 男	福岡県特別支援学校長協会長	福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」 校長
	森 下 博 輝	福岡県教育庁教育振興部長	
	梅 田 保 人	福岡県教育庁体育スポーツ健康課長	
	南 野 圭 史	福岡県教育庁高校教育課長	
	吉 田 法 稔	福岡県教育庁義務教育課長	
	家 宇 治 正 幸	福岡県教育庁福岡教育事務所長	
	黒 田 一 治	福岡県教育庁北筑後教育事務所長	
	池 田 一 司	福岡市教育委員会学校指導課長	
	窪 田 俊 哉	久留米市教育委員会学校教育課長	
	田 中 和 彦	春日市教育委員会学校教育課長	
	大 場 英 里	大野城市教育委員会学校教育課長	
	安 河 内 渉	粕屋町子ども未来課長	
会 長	柳 昭 博	福岡県学校保健体育研究会長	福岡県立八幡南高等学校 校長
副 会 長	松 岡 恒 人	福岡県小学校体育研究会長	福岡市立四箇田小学校 校長
	西 村 博 之	福岡県中学校保健体育研究会長	福岡市立当仁中学校 校長
	春 本 文 昭	福岡県高等学校保健体育研究部会長	福岡県立西田川高等学校 校長
常 任 委 員	波 多 江 貴 志	福岡県中学校保健体育研究会	福岡市立老司中学校 教諭
	内 海 敏 幸	福岡県高等学校保健体育研究部会	福岡県立春日高等学校 教諭
	木 下 正 信	福岡県小学校体育研究会	福岡市立下山門小学校 校長
	陶 山 嘉 一	福岡県小学校体育研究会	春日市立天神山小学校 教諭
	原 田 真 司	福岡県中学校保健体育研究会	福岡市立次郎丸中学校 教諭
	藤 井 隆 史	福岡県中学校保健体育研究会	春日市立春日西中学校 教諭
	森 山 博 志	福岡県高等学校保健体育研究部会	福岡県立糸島高等学校 教諭
	今 村 よ し 恵	福岡県高等学校保健体育研究部会	福岡県立香住丘高等学校 教諭
	石 田 剛	福岡県特別支援学校知的障害教育校体育連盟	福岡県立直方養護学校 教諭
	塩 田 一 彦	福岡県特別支援学校知的障害教育校体育連盟	福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」 教諭
	末 松 聰	国公立幼稚園教育研究会長	福岡教育大学付属幼稚園 副園長
	武 田 健 児	福岡県小学校体育研究会	福岡市立香椎小学校 校長
	相 部 保 美	福岡教育大学 教授	
	岩 本 克 也	福岡県教育庁体育スポーツ健康課課長補佐	
	藤 原 孝 之	福岡県教育庁体育スポーツ健康課主任指導主事	
	小 川 昇 二 郎	福岡県教育庁体育スポーツ健康課総括指導主事	
	平 島 篤	福岡市教育委員会学校指導課主任指導主事	
	島 居 良 法	福岡市教育委員会学校指導課指導主事	
	本 村 政 夫	久留米市教育委員会学校教育課指導主任	
	田 中 義 人	春日市教育委員会学校教育課指導主事	
	伊 藤 啓 二	大野城市教育委員会教育指導室教育指導室長	
	篠 原 幹 浩	粕屋町教育委員会学校教育課指導主事	
監 事	原 正 彦	福岡県教育庁財務課課長補佐	
	杉 山 大 樹	福岡県学校保健体育研究会監事	福岡市立原北小学校 校長

役 職	氏 名	所 属 及 び 職 等	
委 員	落 合 純 哉	福岡県教育庁義務教育課指導主事	
	奥 原 広 志	福岡県特別支援学校知的障害教育校体育連盟会長	福岡県立直方養護学校 校長
	青 木 哲 也	北九州市教育委員会指導第二課指導主事	
	八 尋 文 枝	粕屋町立大川幼稚園長	
	田 中 真 智 子	粕屋町立大川幼稚園主任	
	村 川 清 敏	福岡市立別府小学校長	
	大 跡 克 史	福岡市立別府小学校教諭	
	岸 本 洋	福岡市立長丘小学校長	
	村 上 行 正	福岡市立長丘小学校教諭	
	窪 淳 朗	福岡市立草ヶ江小学校長	
	休 徳 一 郎	福岡市立草ヶ江小学校教諭	
	小 林 剛	大野城市立御笠の森小学校長	
	平 井 源 樹	大野城市立御笠の森小学校教諭	
	良 永 優 理 子	久留米市立南薫小学校長	
	大 隈 知 子	久留米市立南薫小学校教諭	
	佐々木 壮 一 朗	福岡教育大学附属福岡小学校副校長	
	毛 利 拓 也	福岡教育大学附属福岡小学校教諭	
	中 村 浩	福岡市立高宮中学校長	
	阿 武 正 俊	福岡市立高宮中学校教諭	
	児 島 徳 隆	福岡市立城南中学校長	
	吉 村 由 美 子	福岡市立城南中学校教諭	
	扇 弘 行	春日市立春日南中学校長	
	下 野 六 太	春日市立春日南中学校教諭	
	坂 田 正 雄	福岡教育大学附属福岡中学校副校長	
	深 川 成 浩	福岡教育大学附属福岡中学校教諭	
	亀 岡 靖	福岡県立修猷館高等学校長	
	鈴 木 須 美 子	福岡県立修猷館高等学校教諭	
	野 見 山 秀 樹	福岡県立福岡工業高等学校長	
	犬 丸 嘉 章	福岡県立福岡工業高等学校教諭	
	江 島 玲 子	福岡県立古賀特別支援学校長	
	井 神 秀 展	福岡県立古賀特別支援学校教諭	
	小 宮 雅 弘	福岡県教育庁福岡教育事務所教育指導室指導主事	
	岩 城 一 磨	福岡県教育庁北筑後教育事務所教育指導室指導主事	

事 務 局

役 職	氏 名	所 属 及 び 職 等	
事 務 局 長	荒 木 和 謙	福岡県体育研究所 所長	
事 務 局 次 長	是 枝 高 司	福岡県体育研究所 参事兼次長	
	中 島 健 二	福岡県体育研究所 総括指導主事	
事 務 局 員	山 本 秀 史	福岡県教育庁体育スポーツ健康課 指導主事	
	稲 富 勉	福岡県体育研究所 指導主事	
	幾 竹 浩 子		
	藤 田 弘 美		
	高 田 竜 也		
	松 延 聡		
	中 尾 真 樹 子		
	中 村 満 喜 子	福岡県体育研究所 主任主事	

福岡大会運営役員〔全体会〕

式典部

〔部長〕

森山 博志 糸島高等学校

〔式典主任〕

森山 徳浩 春日高等学校

〔接待主任〕

水上 邦子 筑豊高等学校

〔運営役員〕

玉江 俊樹 育徳館高等学校
林 昭彦 門司大翔館高等学校
山根 史子 小倉南高等学校
長谷川 誠一 戸畑高等学校
野田 和美 八幡高等学校
花田 保 八幡南高等学校
持永 雄亮 明治学園高等学校
緒方 三幸 宗像高等学校
元嶋 玲子 光陵高等学校
高崎 佳奈 玄界高等学校
吉田 孝彦 新宮高等学校
谷 慎介 福岡魁誠高等学校
田志 奈美 香椎高等学校
石橋 和子 福岡高等学校
三好 敬子 筑紫丘高等学校
平田 典子 福岡中央高等学校
竹田 博美 春日高等学校
富山 良子 太宰府高等学校
今井 薫美子 筑紫中央高等学校
藤武 裕司 糸島高等学校
藤吉 範子 福岡高等学校
佐藤 裕美 古賀成成館高等学校
青木 早穂子 筑紫女学園高等学校
林田 有里 福岡工業大学附属城東高等学校
秋田 康博 大川樟風高等学校
内田 登美子 三池工業高等学校
高野 道子 ありあけ新世高等学校
金子 豊子 筑後特別支援学校
小野山 大寿 田川高等学校
棕本 泰子 嘉穂高等学校
末吉 薫 直方高等学校
久保 智章 鞍手竜徳高等学校

〔副部長〕

今村 よし恵 香住丘高等学校

〔受付主任〕

鳥飼 知子 柏陵高等学校

〔設営主任〕

竹本光一郎 筑紫女学園高等学校

中野 壽子 京都高等学校
徳丸 陽子 門司大翔館高等学校
大庭 晃一 北九州高等学校
永石 久美子 若松商業高等学校
西川 崇 八幡中央高等学校
梅田 治 東筑高等学校
東 美智子 慶成高等学校
中村 英行 宗像高等学校
村田 裕介 水産高等学校
牛島 由美子 新宮高等学校
安永 美智代 福岡魁誠高等学校
中村 智恵 須恵高等学校
小森 裕造 香椎高等学校
本田 竜大 福岡高等学校
松村 友孝 筑紫丘高等学校
仁部 さゆり 筑前高等学校
門岡 弘 太宰府高等学校
内田 ひろみ 福岡農業高等学校
近藤 伸子 武蔵台高等学校
橋本 大介 糸島農業高等学校
川上 夏岐子 福岡女子商業高等学校
長通 亜矢 福岡大学附属大濠高等学校
古賀 あや 博多女子中学高等学校
江藤 結香 福岡雙葉高等学校
角 政浩 三池高等学校
杉野 一昭 三池工業高等学校
時津 正隆 浮羽真真館高等学校
宮崎 永司 久留米学園高等学校
高木 雄一郎 田川科学技術高等学校
日高 祐次 嘉穂高等学校
佐々木 幹雄 筑豊高等学校
中野 光陽 大和青藍高等学校

事業部

〔部長〕

原田 真司 次郎丸中学校

〔運営役員〕

堀 愛 筑紫丘中学校
近藤 隆太 玄洋中学校
石田 龍 北崎中学校
高木 真一 下山門中学校
中村 智和 片江中学校
村田 浩一 高須中学校
奥畑 博幸 菊陵中学校
今川 嘉津磨 岡垣中学校
青木 康宏 田川鎮西中学校
川波 由臣 城島中学校
小下 剛 築城中学校
福井 慎也 泉中学校
片岡 勝信 古賀北中学校

〔副部長〕

藤井 隆史 春日西中学校

永野 主税 玄洋中学校
八重岡 武士 友泉中学校
赤池 潤 下山門中学校
井上 真梨 片江中学校
石井 洋安 原北中学校
甲斐 富美子 花尾中学校
矢野 千加史 直方第二中学校
佐藤 祐樹 稲築東中学校
須田 新之介 北野中学校
高松 智也 荒木中学校
山本 康成 今元中学校
中野 文夫 春日東中学校
大島 希祥 志摩中学校

編集部

〔部長〕

石田 剛 直方養護学校

〔運営役員〕

野上 智恵 福岡高等学園
藤井 慶太 嘉穂特別支援学校

〔副部長〕

塩田 一彦 北九州高等学園

牟田 信行 小郡特別支援学校

福岡大会運営役員〔分科会〕

	粕屋町立 大川幼稚園	福岡市立 別府小学校	福岡市立 長丘小学校	福岡市立 草ヶ江小学校	大野城市立 御笠の森小学校	久留米市立 南薫小学校	福岡教育大学附属 福岡小学校
分科会会長	上田 晃三 (庄内幼稚園)	校長 村川 清敏	校長 岸本 洋	校長 窪 淳朗	校長 小林 剛	校長 良永 優理子	校長 古賀 元章
運営委員長	園長 八尋 文枝	木村 清人 (大楠小学校)	杉山 大樹 (原北小学校)	蓑田 博法 (今宿小学校)	教頭 山本 達也	秋野 友宏 (三瀬小学校)	副校長 佐々木 壮一郎
会場責任者	青木 知香 (仲原幼稚園)	教頭 荒木 信博	教頭 井樋 述弥	教頭 吉永 玄	教諭 松崎 高志	教頭 深山 典嗣	教頭 塚本 正典
研究委員長	主任 田中 真智子	教諭 大跡 克史	教諭 村上 行正	教諭 休徳 一郎	教諭 平井 源樹	教諭 大隈 知子	教諭 田中 健吾
受 付	高須 良枝 (須恵南幼稚園) 岡田 洋子 (須恵東幼稚園) 東郷 行美 (アザレア幼児園) 松元 由美 (仲原幼稚園) 甲斐 奈保子 (中央幼稚園)	堀江 保夫 (東花畑小学校) 久光 裕子 (平尾小学校) 有吉 一徳 (室見小学校) PTA 谷川 恵美子	時枝 豊美 (福重小学校) 高橋 由紀子 (飯倉小学校) PTA 雪丸 順子 PTA 玉田 美香 PTA 吉村 順子 PTA 甲斐 寿美子	井上 茂雄 (三筑小学校) 池田 彰治 (能古小学校) 下田 一郎 (塩原小学校) 吉田 明史 (内浜小学校) PTA 園田 真琴	三苫 幸男 (大城小学校) 大久佐 政美 (下大利小学校) 主事 濱崎 希 PTA 廣木 真紀	堀場 一義 (小森野小学校) 今村 太一 (東国分小学校) 江口 佳一郎 (西国分小学校) 栄養教諭 田端 愛花 事務補助 福井 理恵	教諭 安藤 順子 教諭 古井 由希子
誘 導	村中 孝子 (新宮幼稚園) PTA 栗原 幸子 (新宮東・立花幼稚園) 田中 紀子 (西幼稚園) 岡田 真理子 (中央幼稚園)	林 卓也 (鳥飼小学校) PTA 阿部 由美 PTA 田中 宏美	逆瀬川 敦智 (原小学校) 朝田 千代美 (老司小学校)	池田 さくも (春住小学校) 一丸 正子 (室見小学校) 三枝 暁史 (千早小学校) PTA 櫻木 裕子 PTA 杉山 弘美	PTA 竹島 香織	父母教師会 村井 麻木 父母教師会 曾我 恵子 父母教師会 野瀬 順美 父母教師会 吉高 千恵 父母教師会 重松 あゆみ	教諭 高武 龍彦 教諭 永江 英俊
駐 車 場	原田 幸子 (篠栗幼稚園) 安倍 正子 (勢門幼稚園) 山岡 珠美 (北勢門幼稚園) 高井 博章 (仲原幼稚園) 門司 直子 (西幼稚園)	教諭 石田 利一 PTA 又木 明子	PTA 原 良二 PTA 井上 かをり PTA 柴田 尚美 PTA 野田 美香 PTA 御厨 希津子	塩田 健吾 (鳥飼小学校) 西口 崇 (百道浜小学校) 佐伯 修一郎 (平尾小学校) PTA 帆足 美砂 PTA 田原 郷子	PTA 釋 建治 PTA 梅野 雅弘	赤司 公一 (金丸小学校) 校務員 井上 喜久雄 父母教師会 石橋 靖人 父母教師会 井手 高太郎 父母教師会 山村 公志郎 父母教師会 荒井 成子	教諭 倉富 護 教諭 森 将和
接 待	山口 絵美子 (西幼稚園) 川畑 知美 (仲原幼稚園)	PTA 美濃部 典子	浅田 春介 (花畑小学校) PTA 林 楠美 PTA 待鳥 加奈子 PTA 濱田 桂子 PTA 吉永 みゆき PTA 梅原 由紀 PTA 徳永 由佳里 PTA 吉田 博美 PTA 佐々木はるみ	PTA 大隈 奈知子 PTA 藤丸 彩穂	PTA 難波 真夕	父母教師会 岡 奈緒子 PTA 父母教師会 権藤 久美 父母教師会 森光 美佳	教諭 緒方 敦子
救 護	立石 道子 (西幼稚園) 林 マスミ (中央幼稚園)	養護教諭 森高 美紀	養護教諭 小河 そら	養護教諭 堤 三和	養護教諭 田辺 真理	養護教諭 新田 悦甲	養護教諭 渡邊 真奈美
進 行	藤本 愛子 (中央幼稚園)	教頭 荒木 信博	教頭 井樋 述弥	教頭 吉永 玄	教諭 松崎 高志	教頭 深山 典嗣	教諭 黒澤 真二
研 究 発 表 研 究 協 議	原 千鶴子 (久原・山田幼稚園) 西嶋 幸子 (新宮東幼稚園) 稲光 陽子 (新宮幼稚園)	平川 真理子 (平尾小学校) 重松 和浩 (松島小学校)	太田 恵介 (那珂南小学校) 児玉 清孝 (那珂小学校) 教諭 中川 健太郎	池田 昌弘 (吉岐東小学校) 小林 信太郎 (宮松小学校) 立山 峰生 (青葉小学校)	教頭 山本 達也 教諭 三嶋 公王	石井 裕一 (宮ノ陣小学校) 主幹教諭 田島 孝則 教諭 室井 真理子	教諭 三浦 研一 教諭 今村 光宏 教諭 毛利 拓也

	福岡市立 高宮中学校	福岡市立 城南中学校	春日市立 春日南中学校	福岡教育大学附属 福岡中学校	福岡県立 修猷館高等学校	福岡県立 福岡工業高等学校	福岡県立 古賀特別支援学校
分科会会長	校 長 中村 浩	校 長 児嶋 徳隆	校 長 扇 弘行	校 長 坂本 隆則	校 長 亀岡 靖	校 長 野見山 秀樹	校 長 江島 玲子
運営委員長	櫻木 陽二 (那珂中学校)	川瀬 正大 (城香中学校)	長野 義雄 (春日北中学校)	教 頭 龍田 仁	教 諭 太田 聖司	副校長 椋嶋 孝洋	松原 太洋 (小郡特別支援学校)
会場責任者	教 頭 戸次 れい子 寺崎 英二 (柏原中学校)	教 頭 渡辺 肇 福田 宏 (博多中学校)	教 頭 吉村 重夫	中 原 健 (和白丘中学校)			教 諭 井神 秀展
研究委員長	教 諭 阿武 正俊	教 諭 吉村 由美子	教 諭 下野 六太	教 諭 深川 成浩	教 諭 鈴木 須美子	教 諭 犬丸 嘉章	主幹教諭 田中 博久
受 付	竹崎 キク子 (百道中学校) 篠崎 規子 (和白丘中学校) 白川 由紀子 (平尾中学校) 教 諭 松尾 宏一	福増 典子 (西福岡中学校) 永田 恵子 (警固中学校) 袈裟丸 真理 (早良中学校) 教 諭 南田 永子 教 諭 田口 知香子	太田 洋之 (那珂川北中学校) 佐久間 啓介 (太宰府中学校) 教 諭 山口 恵理子 教 諭 山口 恵昭	平山 晴菜 (三宅中学校) 小原 美桃 (梅林中学校) 斉藤 静香 (田隈中学校) 教 諭 下川 智紀	足立 鈴子 (糸島高等学校) 山田 和久 (糸島高等学校) 仁部 さゆり (筑前高等学校) 教 諭 岡本 圭吾 教 諭 杉森 武彦	榊 源治 (玄洋高等学校) 宮原 香織 (福岡講倫館高等学校) 原 陽三 (早良高等学校) 主幹教諭 長濱 哲也 教 諭 中嶋 崇光	浦田 千波 (直方養護学校) 高橋 譲治 (福岡高等学園) 教 諭 川原 淳一 教 諭 金森 浩明
誘 導	井脇 涼久 (当仁中学校) 筑紫 忠 (百道中学校) 井手 潤之介 (箱崎中学校) 教 諭 在郷 啓子	中川 法文 (吉塚中学校) 粕原 豊一 (城香中学校) 財部 修平 (松崎中学校) 教 諭 山田 恭司 教 諭 久和 望	中野 文夫 (春日東中学校) 小林 史宣 (春日野中学校) 教 諭 北里 治吉 教 諭 山口 恵昭	新谷 雅浩 (住吉中学校) 高山 剛 (高取中学校) 中村 智和 (片江中学校) 教 諭 東方 広海	鳥越 志郎 (福岡西陵高等学校) 村田 祐子 (城南高等学校) 中庭 千春 (城南高等学校) 塚本 涼子 (西南学院高等学校) 教 諭 藤原 誠 教 諭 三苫 大輔	高橋 克俊 (中村三陽高等学校) 橋本 大介 (糸島農業高等学校) 竹田 杏由美 (福岡舞鶴高等学校) 教 諭 藤本 秀孝 講 師 清原 鋭	和田 茂 (小郡特別支援学校) 講 師 吉田 耕三 講 師 江藤 健一
駐 車 場	安部 孝 (横手中学校) 金田 秀樹 (青葉中学校) 寺田 敏希 (多々良中学校) 教 諭 鶴田 浩	石井 洋安 (原北中学校) 今富 武治 (長尾中学校) 高杢 真一 (下山門中学校) 教 諭 花田 史朗 教 諭 市川 和史	松原 理恵 (御陵中学校) 教 諭 日下部 正実 教 諭 森 祐洋 教 諭 八尋 健次	辻 大造 (三筑中学校) 二宮 惇 (箱崎清松中学校) 窪田 誠志 (香椎第一中学校) 講 師 戸田 拓朗	佐藤 恒希 (筑前高等学校) 中村 絢也 (福岡女子高等学校) 徳永 剛 (福岡西陵高等学校) 教 諭 三苫 大輔 講 師 山口 達也	山田 隆史 (玄洋高等学校) 村上 英司 (福岡講倫館高等学校) 石井 克彦 (早良高等学校) 教 諭 松永 茂美 実習助手 上城 英暁	北村 さおり (築城特別支援学校) 金子 春雄 (筑後特別支援学校) 臼井 俊生 (小郡特別支援学校) 教 諭 荒木 宏之
接 待	教 諭 池田 茂子	PTA事務 桑原 令子	大澤 朋子 (筑紫野南中学校) 教 諭 中村 悦子 教 諭 八尋 健次	教 諭 田中 早苗	講 師 山口 達也 主任技師 佐伯 美保子	事務次長 永江 房子	藤川 信樹 (川崎特別支援学校) 藤川 政洋 (北九州高等学園)
救 護	養護助教諭 樋口 紗耶	養護教諭 西村 知子	養護教諭 山口 圭子	養護教諭 月俣 美津代	養護教諭 木村 博子	養護教諭 松尾 久子	養護教諭 山根 君恵
進 行	教 頭 戸次 れい子	教 頭 渡辺 肇	坂本 吉晴 (太宰府東中学校)	教 頭 龍田 仁	教 諭 太田 聖司	教 頭 西川 實	副校長 原 尚士
研 究 発 表 研 究 協 議	黒瀬 公彦 (野間中学校) 荒木 円 (臼佐中学校) 教 諭 阿武 正俊	安河内 昭博 (和白中学校) 北里 清美 (友泉中学校) 教 諭 吉永 正人 平岡 麗奈 (原北中学校)	出田 誠 (春日北中学校) 中嶋 瞳 (那珂川北中学校) 白石 美由紀 (春日中学校)	重永 雅史 (高取中学校) 教 諭 笠井 康行 堀 愛 (筑紫丘中学校)	教 諭 鳶木 秀一 教 諭 三苫 大輔 教 諭 鈴木 須美子 教 諭 藤原 誠	教 諭 犬丸 嘉章 教 諭 福井 清次 教 諭 池上 久敏 教 諭 遠藤 元太郎	金子 隆二 (嘉穂特別支援学校) 金子 春雄 (筑後特別支援学校) 岡住 徹 (北九州高等学園)

大会準備・経過の概要

平成17年度

月	日	行事・手続き等
10	4	第49回全国学校体育研究大会福岡大会に係る打合せ ○大会開催に向けての準備体制について

平成18年度

月	日	行事・手続き等
5	21	日本学体連 平成18年度第1回理事・評議員会 ○平成18年度以降開催予定都道府県担当者打合せ
11	15	日本学体連 平成18年度第2回理事・評議員会【宇都宮市】 ○近年度開催予定都道府県担当者打合せ
12	18	第49回全国学校体育研究大会準備委員会設置のための第1回検討会 ○準備委員会設置について ○今後の準備計画について
2	26	第49回全国学校体育研究大会準備委員会設置のための第2回検討会 ○大会開催に当たっての課題について ○推進体制、組織づくりについて
2	28	本県開催についての文部科学省からの依頼 平成19年2月28日付18諸文科第311号「第49回全国学校体育研究大会の開催について（依頼）」

平成19年度

月	日	行事・手続き等
5	20	日本学体連 平成19年度第1回理事・評議員会 ○平成19～24年度開催県共同打ち合わせ
6	15	第49回全国学校体育研究大会準備委員会設置のための第3回検討会 ○準備委員会組織（案）について ○発表地区選考の考え方について
7	18	第1回福岡大会準備委員会 ○準備委員会会則・組織・スケジュールについて ○開催地選考について ○研究指定校選考について
10	15	第1回福岡大会準備委員会事務局会 ○研究指定校候補について ○研究主題について
11	14	日本学体連 平成19年度第2回理事・評議員会【京都市】 ○近年度開催予定都道府県担当者打合せ
12	25	第2回福岡大会準備委員会事務局会 ○研究主題等について
3	10	第2回福岡大会準備委員会 ○研究指定校について ○実行委員会設立について

平成20年度

月	日	行事・手続き等
5	25	日本学体連 平成20年度第1回理事・評議員会 ○福岡大会準備状況について報告 ○近年度開催県打合せへの参加
6	17	第3回福岡大会準備委員会 ○実行委員会 組織検討 等 ○実行委員会設立総会打ち合わせ

月	日	行事・手続き等
7	1 6	実行委員会設立総会 ○会則・組織・事業計画・予算等審議、 ○委員・研究推進指定校委嘱
8	2 7	事務局打合会 ○研究推進について ○プレプレ大会について ○広告協賛について
1 0	2 7	研究部会 ○研究主題及び趣旨等の検討 ○分科会の研究推進の方向性
	2 9	日本学体連 平成20年度第2回理事・評議員会【盛岡市】
	3 0	第47回全国学校体育研究大会（岩手大会）の視察
1 1	4	分科会会場校説明会 ○会場校の運営等説明 ○研究推進の方向性
1 2	1 2	プレプレ大会 ○口頭発表 久留米市立南薫小学校・福岡市立舞鶴中学校 ○講 義 文部科学省 佐藤豊教科調査官
	1 2	分科会会場校説明会 ○分科会研究領域についての提案
3	2 4	実行委員会常任委員会 ○H20事業報告、決算報告 ○H21事業計画、予算について ○福岡大会開催要項、大会テーマ、 ○分科会、プレ大会、その他
	2 4	監事会 ○平成20年度会計監査

平成21年度

月	日	行事・手続き等
4 ～ 5		研究部会 ○大会テーマ及び趣旨等の検討 ○分科会の研究推進の方向性
5	1 7	日本学体連 平成21年度第1回理事・評議員会【国立リハビリテーション記念青少年センター】 ○福岡大会準備状況について報告 ○近年度開催県打合会への参加
6	2	福岡大会実行委員会第2回総会 ○H20事業報告、決算報告 ○H21事業計画、予算について ○福岡大会開催要項、大会テーマ、 ○分科会、プレ大会、その他
6	2	第1回分科会会場校検討会 ○大会テーマ、趣旨、分科会領域、研究の進め方
6	1 5	協賛企業予備調査 ○依頼先リストの依頼（各研究団体へ）
6	2 2	第2回分科会会場校検討会 ○授業づくりに係る講話（早稲田大学友添教授）、質疑
6	2 5	島根大会プレ大会の視察
7	1 6	文部科学省との打合せ【文部科学省】 ○大会要項、大会テーマ、趣旨、全体会・分科会、予算等
8	3	第3回分科会会場校検討会 ○研究紀要掲載資料、会場配布資料、プレ大会
1 0	2 9	日本学体連 平成21年度第2回理事・評議員会【松江市】
	3 0	第48回全国学校体育研究大会（島根大会）の視察

月	日	行事・手続き等
11	19	プレ大会 大野城市立御笠の森小学校、春日市立春日南中学校 ○公開授業、研究協議、指導助言・講義（早稲田大学 友添教授）
	25	プレ大会 福岡市立長丘小学校、福岡県立福岡工業高等学校 ○公開授業、研究協議、指導助言・講義（文部科学省 佐藤教科調査官）
12	10	部長連絡会 ○島根大会の視察報告、次年度に向けて、事業計画・協賛金・予算等について検討
1 ～2		各部会（各研究団体） ○部会設立、業務内容検討、確認、運営計画等
2	16	第4回分科会会場校検討会 ○研究推進計画、研究紀要書式、分科会の運営
3	5	福岡大会実行委員会常任委員会 ○21年度事業報告・決算報告 ○22年度事業計画・事業予算
	30	監事会 ○平成21年度会計監査

平成22年度

月	日	行事・手続き等
4	13	委員等委嘱
	26	文部科学省との打合せ【文部科学省】 ○大会要項、予算等
5	19	福岡大会実行委員会第3回総会 ○21年度事業・決算報告 ○22年度事業計画・予算 ○開催要項等
		第5回分科会会場校検討会 ○研究テーマ、趣旨、分科会領域、研究の進め方
5 ～7		分科会事前研修会 ○指導助言講師招聘の研修会
		各部会（各研究団体等） ○各部業務の実施計画
5	30	日本学体連 平成22年度第1回理事・評議員会【国立リハビリテーションセンター】 ○福岡大会開催要項説明 ○近年度開催県打合せへの参加
6	23	福岡大会第一次案内（開催要項）
	28	日本学体連 開催県表敬訪問及び会場視察（後藤理事長）
8	2	福岡大会第二次案内（大会案内）
	27	第6回分科会会場校検討会 ○研究紀要、分科会運営要領 等
9	21	大会役員依頼（全体会、分科会運営役員）
10	8	参加申込締切
	21	常任委員・分科会会長等合同会議 ○参加申込状況、大会スケジュール、運営計画 等
11	17	前日準備・リハーサル 日本学体連 平成22年度第2回理事・評議員会【14:00～セントラルホテルフクオカ】 近年度開催県打合せ【16:00～セントラルホテルフクオカ】 レセプション【18:00～セントラルホテルフクオカ】
	18	福岡大会第1日全体会【福岡サンパレス】
	19	福岡大会第2日分科会【県内14会場】
2	28	監事会 ○平成22年度会計監査
3	4	福岡大会実行委員会第4回総会 ○平成22年度事業報告、決算報告

全国学校体育研究大会開催地及び研究主題一覧

回	年度	開催地	研究主題
1	昭和37(1962)	千葉	「新学習指導要領による体育学習は、どのように展開したらよいか」
2	38(1963)	兵庫	—
3	39(1964)	鳥取	—
4	40(1965)	東京	「学習内容の精選と指導の質の向上」
5	41(1966)	岐阜	「運動技能の効果的な指導はどのようにしたらよいか」
6	42(1967)	大阪	「運動技能の効果的な指導はどのようにしたらよいか」
7	43(1968)	福島	「学校体育の中で体力づくりをどのように進めたらよいか」
8	44(1969)	高知	「体育の効果的な学習指導をどのように進めるか」 —とくに、体力づくりの面から—
9	45(1970)	長崎	「自主的体育学習はどのようにすすめるか」 —とくに体力技能づくりの面から—
10	46(1971)	埼玉	「運動の特性に応じた効果的な学習指導はどのようにしたらよいか」
11	47(1972)	福井	「運動の特性や発達段階に応じた効果的な体育指導 —次代をきりひらくたくましい児童生徒の育成をめざして—」
12	48(1973)	和歌山	「体育学習における効果的な指導を行うにはどうすればよいか」 —とくにたくましい人間形成をめざして—
13	49(1974)	山形	「生涯体育の基礎を築く児童・生徒のいきいきとした授業の開発」 —技能習得過程における子どもの意識—
14	50(1975)	東京	「体育指導の充実をめざして」
15	51(1976)	滋賀	「体育指導と体力の向上」
16	52(1977)	熊本	「すすんで実践する体育学習をめざして」
17	53(1978)	群馬	「体力向上の在り方を求めて」
18	54(1979)	東京	「心身の健康をめざして」
19	55(1980)	東京	「望ましい態度・習慣の育成をめざして」
20	56(1981)	大阪	「たくましいからだを心で育てる」
21	57(1982)	新潟	「生涯スポーツを志向した学校体育の推進を目指して」
22	58(1983)	神奈川	「運動の実践力を高める学習過程はどうあるべきか」
23	59(1984)	沖縄	「運動の特性に基づく楽しさを味わうための学習の指導はどうすればよいか」
24	60(1985)	鹿児島	「生涯体育を指向し、豊かな人間性を育成する学習指導のあり方」
25	61(1986)	兵庫	「学習効果をより高める体育指導はいかにあるべきか」
26	62(1987)	宮城	「21世紀をたくましく生きぬく児童生徒の育成を目指す学校体育の創造」

回	年度	開催地	研究主題
27	昭和63(1988)	愛 知	「いのちを尊び、心と体を鍛え、たくましく生きる子供の育成をめざす体育学習指導」
28	平成元(1989)	千 葉	「自ら運動に親しみ、豊かな心と健やかな体を育て、生涯スポーツをめざす新しい学校体育を求めて」
29	2(1990)	北 海 道	「21世紀を豊かに、たくましく生きる子どもの育成を目指す学校体育の在り方を求めて」
30	3(1991)	大 分	「生涯スポーツを指向し、豊かな人間性を育成する学校体育の推進をめざして」
31	4(1992)	静 岡	「生涯体育・スポーツの基礎を培い、心身ともに健康で活力に満ちた幼児・児童・生徒を育成する学校体育の在り方」
32	5(1993)	山 梨	「21世紀を心豊かに、たくましく生きる幼児児童生徒を育成する学校体育の在り方」
33	6(1994)	石 川	「一人一人が、運動の楽しさを味わい、ゆたかな心とすこやかな身体を育てる生涯スポーツをめざした学校体育のあり方」
34	7(1995)	香 川	「自ら運動を求め、楽しみ、生涯にわたって運動に親しむ子どもの育成を目指して」
35	8(1996)	秋 田	「生涯スポーツをめざして、一人一人が運動する喜びを味わえる体育学習のあり方」
36	9(1997)	奈 良	「21世紀を生き抜く、生涯体育・スポーツの深化を図る体育学習・運動あそびの在り方をもとめて」
37	10(1998)	岡 山	「あそび・スポーツのある豊かな社会」 －学校体育の役割－
38	11(1999)	茨 城	「ともに、すこやかなスポーツライフをはぐくむあそび・スポーツの在り方」
39	12(2000)	青 森	「発達段階に応じ、喜びや感動を与える体育学習の在り方を求めて」
40	13(2001)	宮 崎	「仲間と一緒に夢中になって取り組む運動遊び・体育学習のあり方」
41	14(2002)	北 海 道	「はずむ心と体、共に高め合う体育活動」
42	15(2003)	三 重	「学びをひらく体育の創造」 －体育ってなに？今を生きる子どもたちにとって－
43	16(2004)	徳 島	「未来を生きる力を育む体育学習を求めて ～心と体をひとつに～」
44	17(2005)	富 山	「基礎・基本を身につけ、学び続ける力をはぐくむ体育学習」
45	18(2006)	栃 木	「生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培う体育学習を求めて」
46	19(2007)	京 都	「健やかな心と体を育む体育学習を求めて」
47	20(2008)	岩 手	「いきる、わかる、できる」 生涯スポーツの基礎を培う、確かな力を育てる授業の創造
48	21(2009)	島 根	「確かな知識と技能を身につけ、学ぶ喜びが味わえる体育学習」
49	22(2010)	福 岡	「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」 －幼児児童生徒の発達の段階を踏まえて－

編集後記

平成 22 年 11 月 18 日（木） 19 日（金）「運動の楽しさを味わわせ、体育的学力の確かな定着を図る体育授業の創造」を大会主題に、第 49 回全国学校体育研究大会福岡大会を開催いたしました。全国から約 1,900 名を超える参加を得て、盛会のうちに無事終了することができました。

福岡大会の準備にあたりましては、先に告示されました新学習指導要領の実施を目前に控えたこの時期に、その趣旨を踏まえた体育・保健体育科の授業づくりについて、全国の皆様に提案できる充実した内容となりますよう、幼、小、中、高、特別支援の各校種研究団体と 14 校の分科会会場校が連携を図りながら、鋭意研究を進めて参りました。

全体会における基調報告や特別講演、シンポジウムはもちろんのこと、第 2 日目の分科会におきましても、各会場で多くの皆様に最後の研究協議まで熱心に参加していただきました。おかげをもちまして、「体育的学力の確かな定着」をキーワードにきわめて活発な協議を行うことができました。

ここで改めまして、本研究大会に御参加いただきました全国の皆様に心からお礼申し上げます。

また、本研究大会の開催にあたり、研究から運営に至るまで多大な御支援、御協力を賜りました文部科学省をはじめ、財団法人日本学校体育研究連合会、講師の皆様方に、心からお礼申し上げます。

ここに、本研究大会の成果や課題及び記録等を記載した『福岡大会報告書』を作成いたしましたので、多くの皆様に御覧いただければ幸いに存じます。

今後とも、本県の体育・スポーツの振興に寄与できるよう関係諸機関との更なる連携を図りながら学校体育の一層の発展に努めてまいる所存でございますので、引き続き格段の御協力を賜りますようお願い申し上げ、編集後記とさせていただきます。

第49回全国学校体育研究大会 福岡大会

大 会 報 告 書

平成23年3月発行

編 集 福岡大会実行委員会編集部

発行者 福岡大会実行員会
会長 柳 昭博

連絡先 福岡大会実行委員会事務局（福岡県体育研究所内）
〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4
TEL(092)611-0220 FAX(092)611-1747

印 刷 株式会社 西日本高速印刷
〒810-0011 福岡市中央区高砂 1 丁目6-19
TEL(092)531-1766 FAX(092)524-0220



(財)日本学校体育研究連合会